



R4.1月号
学校だより
(創立148年)

はたまる



～規律正しく 心をこめて、力いっぱい学ぶ児童を、全職員で育てます～

令和3年12月23日

言葉の力

校長 森 洋子

少しずつコロナ収束の見え始めた12月。多くの行事が形を変えて少しずつ動き出しました。運動会を皮切りに、男沼小学校との5、6年親善タグラグビー大会、6年租税教室、1、2年人権教室、3～6年スマホ使い方教室、3年ねぎ農家訪問、たんぼぼ学級買い物学習、6年修学旅行。みどりタイムでの野菜収穫…どの行事も、子供たちの集中して聞く姿、持っている力を出そうとがんばる秦小のみんなが光った行事ばかりでした。特に「聞く」という姿勢は本当に素晴らしい。秦小が誇れることの1つです。

東照宮や聖天様のガイドの方の話を食べるように聞く6年生。1、2年生の人権教室では、感想発表の時、たくさん手が挙がり、学んだことを自分の言葉で一生懸命伝えようとした子供たち。タグラグビー大会の開閉会式の参加態度とフェアプレー。3年生のねぎ農家での聞く姿勢。そして4年生の合唱。どの瞬間を切り取っても、一生懸命な秦っ子がそこにいました。大変素晴らしかったです。

では秦っ子の「話す」「書く」力は、どうでしょうか。このマスク生活で、張りのある「自由に声を出すこと」が制限されてきました。そんな中でも学校では「文字にして言葉を紡ぐこと」をずっと大事に活動してきました。学習場面では「振り返り」という活動でその1時間で学んだことを書く。生活場面では、多くの行事を通して、自分の目標や友達のよい所を文字にして表現する活動を継続してきました。その言葉は日を追うごとに増え、言葉に力がついてきました。成長です。

「書くこと」は「考えること(思考)」だと思っています。「書くこと」は、自分が考えていることを自分だけで表現できます。会話であれば、相手がいるので、その雰囲気にならざるを得ませんが、文章を書くのは自分だけです。他人に影響されず、考えを書き、自分を見つめることができます。これも秦小のみんなは学年が上がるにつれて、言葉の量が増え、豊かになっています。

こうしてみると学校生活、いや私たちの生活に「言葉」は欠かせません。この「言葉」を上手に使うことができるようになれば、人と人との関係(コミュニケーション)をより円滑にすることができます。

マザーテレサの遺した言葉の中に、こんな言葉があります。

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから



学校で「言葉を使う」時、それがみんなの未来を創るとすれば、気持ちのいい言葉を使いたい。

学校で「言葉を書く」時、それが自分の行動につながるならば、自分や友達を勇気づけるために書きたい。マザーテレサの言葉を借りれば、「思考を変えれば運命を変えられる」。自分を変えられるすばらしい力(言葉)を大切にしたい。「できない」「でも」「だって」…から抜け出そう。自分を肯定し、プラスの言葉からスタートしてみましょう。「言葉」は友達や家族と、今よりもっと「つながる」ために力を与えるものです。秦小学校では「言葉の力」を信じ、子供たちの心を育てる取組を来年も、職員一同力を合わせ、行なって参ります。ご家庭では、家族のためや目標に向かってがんばる子供たちの努力を認め、勇気づけてあげてください。認められたことが自信となり、新しい年へのやる気へと繋がります。保護者の皆様、今年1年、本当にたくさんのお力添えをありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。

12月の秦小



【人権教室。人権について考えました】



【3年ねぎ農家へ。皮むき体験中】



【みどりタイム。いっぱい収穫】



【授業も一生懸命取り組みます】



【6年東照宮と日光彫。たくさんの思い出をつくれました】



【人権旬間。書いても、もらってもうれしい温かな言葉ほっとカード】



令和4年 1月行事予定表

熊谷市立栗小学校

○ 今月の生活目標 「感謝して楽しい給食にしよう」

授業日数 15日		下校時刻											
曜	学校行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	土	元日/冬季休業日											
2	日												
3	月												
4	火												
5	水												
6	木												
7	金												
8	土												
9	日												
10	月	成人の日											
11	火	日課Ⅱ③/授業開始日/全校朝会	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30	③ 11:30
12	水	登校指導/委員会/発育測定(全学年)/縦割りの清掃分担	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50
13	木	日課Ⅱ/くまなび/書きぞめ制作会	⑤ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30
14	金	小6テスト・5年検証テスト/業間運動/体育指導員外村先生(1年)	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50
15	土												
16	日												
17	月	日課Ⅱ/教育相談日/フッ化物/一斉下校	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40	⑤ 14:40
18	火	児童集会(給食)/業間運動	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50
19	水	クラブ/校内書きぞめ展/主任児童委員・民生児童委員会との連絡会	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50
20	木	日課Ⅱ/校内書きぞめ展/くまなび/スクールカウンセラー来校(午前)/受動喫煙検診	⑤ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30
21	金	業間運動/受動喫煙予備日	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50
22	土												
23	日												
24	月	フッ化物/一斉下校	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10
25	火	業間運動	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50
26	水	縦割りの遊び/クラブ	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50
27	木	日課Ⅱ/くまなび/P.T.A本部会・理事会・会長選出会議	⑤ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30	⑥ 15:30
28	金	業間運動	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑤ 15:00	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50	⑥ 15:50
29	土												
30	日												
31	月	フッ化物/一斉下校	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10	⑤ 15:10

「環境問題にも関係する『食品ロス』」

環境教育主任 岩田久美子

傷んでしまった野菜、食べ残したおかずなどをもったいないと思いつつも、捨ててしまっていることはないでしょうか。このように、何らかの理由によって、食べられる食品を廃棄することを食品ロス(フードロス)と呼びます。日本の食品廃棄物等の発生率は、年間約2,550万トンもあり、そのうち食品ロスと呼ばれている可食部の廃棄量は年間約612万トン(H29環境省)にもものぼり、東京ドームの約5杯分に相当し、国民一人につき、毎日茶碗一杯分(132g)の食品を捨てていることになるそうです。



食品ロスは、食糧生産のために使われた土地や水、労力、資材のすべてを無駄にする行為でもあります。最近では、国や企業、個人でも、食品ロス削減を意識した動向が加速しています。年末、年始に向け、一人一人がもう一度「食べ残し」「手つかず食品」「過剰除去(厚くむきすぎた野菜の皮等)」などを見直し、一番身近な「食べる」ことから環境問題についてご家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

